

夏の夏油高原を駆ける！

岩手きたかみ夏油高原ヒルクライム2018

きたかみ夏油高原ヒルクライム2018(同実行委員会主催)は8日、岩崎地区を会場に行われました。いわさき小学校前をスタートし、夏油高原スキー場までのコースを自転車で駆け上がる同大会は今回で8回目。全国各地の小学生から80代までのサイクリスト約550人が参加し、ゴールを目指しました。

また、和賀東中学校の生徒のほか、地域の企業や住民がボランティアスタッフとして参加。選手の誘導や給水補助を行い、大会を支えました。

合図とともに勢いよくスタートする参加者



景観スポットに到達し、雄大な景色を楽しむ参加者

最難関コースを越えて

景観さんぽ～口内地区編～

30年度第1回景観さんぽ～口内地区編～は1日に開催されました。同イベントは、各回の対象地区にある「きたかみ景観資産」を歩いて巡るもの。今回は、景観資産の中で最も到達が難しいとされる「阿古耶谷^{あこやだに}」を目指しました。金峰山萬蔵寺を出発した参加者は、岩場などを乗り越え、1時間ほどで景観スポットに到着。緑が広がる景色を楽しみました。

高橋珠子さん(口内町)は「久しぶりの山登りで足が疲れたけど、良い眺め」と満足そうに話していました。

地域の名産品と歴史を感じて

更木夏まつり

更木夏まつり(同実行委員会主催)は8日、さらきの里ふれあいセンターで行われました。同まつりは「更木桑茶新茶まつり」と「更木八天縄文まつり」を併せたもので、今回で4回目。会場ではさまざまな出店が並んだほか、歌手の三浦わたるさんなどによるステージ発表が行われ、地区内外からの来場者を楽しませました。「縄文キーホルダー作り」を体験した藤村清司くん(更木小5年)は「粘土にひび割れができて難しい」と話しながら工夫を凝らしていました。

三浦さんの歌に聞き入る来場者。目の前で熱唱に大きな拍手が送られました



演舞場で行われた講演。ソフトウェアを使ったものづくりが紹介されました

最新技術とコラボ

Fusion360 Meetup Special in 東北

Fusion360 Meetup Special in 東北(オートデスク(株)主催)は14日、みちのく民俗村で開催されました。同イベントは、ものづくりに携わる人たちの交流の場として開催されているもので、東北では初開催。医療や鉄器加工などさまざまな業種における最新技術の活用が紹介されました。正木杏佳さん(一関工業高等専門学校3年)は「設計から加工まで関連ソフトで行えてすごい」と話していました。そのほか会場では鬼剣舞が披露されるなど、市のPRも行われました。

ママ同士で情報交換 働きたいママのおしゃべりカフェ

働きたいママのおしゃべりカフェ(ジョブカフェさくら主催)は20日、諏訪町内の店舗「Cokkaraやっぺし」で行われました。子どもを育てながら就業を希望する女性を対象に、定期的で開催されている同イベント。母親同士で、子育てと仕事の両立に関する意見や情報を交換し合います。今回は乳児から小学生の子を持つ女性6人が参加。「子育て経験者が多い職場は理解が得やすい」などの意見が出され、参加者同士で経験を共有していました。

意見交換する参加者。託児スペースも用意されました



(中央)
スラックラインに挑戦する蒼太郎くん

スポーツ体験大集合 北上市スポーツレクリエーション大会

第5回北上市スポーツレクリエーション大会((公財)北上市体育協会主催)は6月24日、北上総合体育館で開催されました。気軽に楽しめる体験型スポーツが一堂に会する同イベント。人気が高まっているクライミングや、数十cmの高さに張ったベルト状のラインを渡るスラックラインなどの体験ブースが用意され、多くの家族連れなどが楽しみました。スラックラインを体験した高橋蒼太郎くん(和賀東小3年)は「歩くと揺れて難しいけど楽しい」と繰り返し挑戦していました。

宝くじ助成を活用 黒沢尻27区自治会が備品を整備

黒沢尻27区自治会は、(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業(宝くじ助成)を活用し、同区公民館の備品を整備しました。整備したのは、折り畳み式のテーブルやイス、エアコンなど計80点。会議などを開催しやすくなったほか、適度な室温調整も行えるようになりました。

10日にはお披露目会が行われ、福地省一会長が「涼しい中で会議ができる。今後もイベント準備などで協力をお願いしたい」と地区民にあいさつしました。

お披露目会終了後、整備されたテーブルとイスを使って行われた会議



滝とアジサイが癒しの空間を創り出した同公園

アジサイを長く楽しんで 親水公園お滝さん水車まつり

親水公園お滝さん水車まつり(同実行委員会主催)は8日から22日の15日間、同公園などで開催されました。昨年までは1日のみの開催だった同まつり。今年はアジサイが咲く風景を長く楽しんでもらおうと、開催期間が延長されました。期間中は、黒岩鬼剣舞のかがり火公演などが行われたほか、約150本のアジサイが色とりどりの花を咲かせ、来場者の目を楽しませました。8日に訪れた及川文夫さん(奥州市)は「雨上がりのアジサイはきれい」と眺めていました。